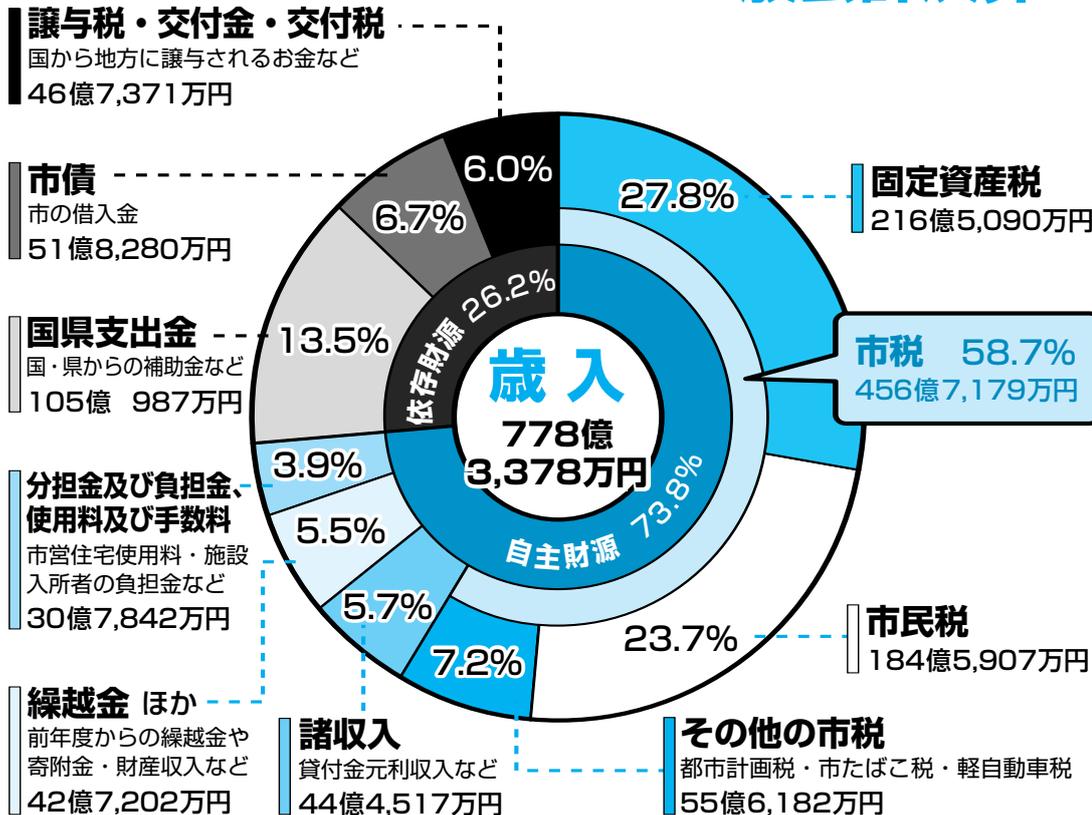


決算報告

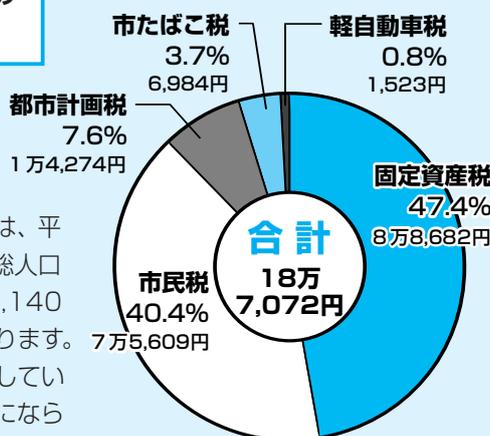
①平成19年度の富士市の財政事情



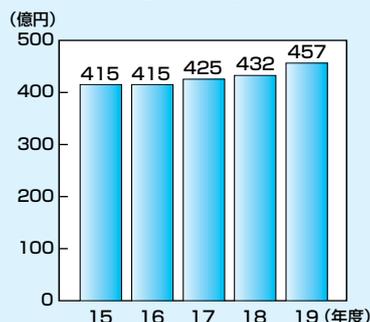
歳入の約6割は市税

歳入の約6割を占めるのは、市民や企業の皆さんから納めていただく市税です。平成19年度の市税の決算額は約457億円で、前年度から約25億円増加しました。これは、税制改正による個人市民税と、企業収益の回復による法人市民税の増加が主要要因です。

市税を市民1人当りに換算すると…



過去5年間の市税収入の推移

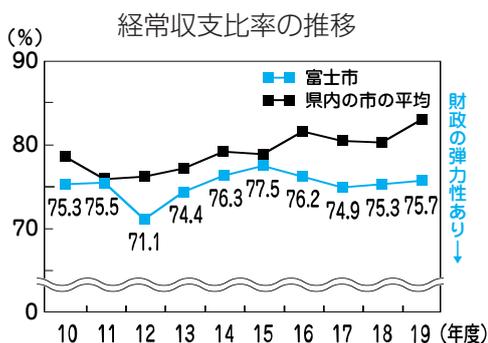


※市民1人当たりの金額は、平成20年3月末現在の総人口(外国人を含む)24万4,140人をもとに計算してあります。また、端数を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

平成19年度の富士市・旧富士川町の決算について報告します。皆さんの納めた税金が、この1年間でどのように使われたかを確かめてみましょう。

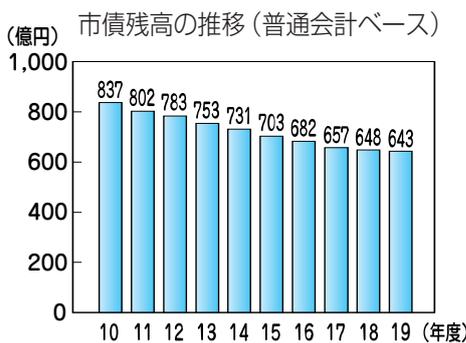


財政の弾力性 (経常収支比率)



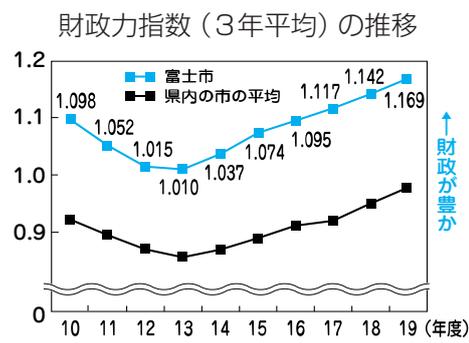
必要最低限の仕事だけでなく、新しい仕事をするゆとりがあります。

借入金の残高 (市債現在高)

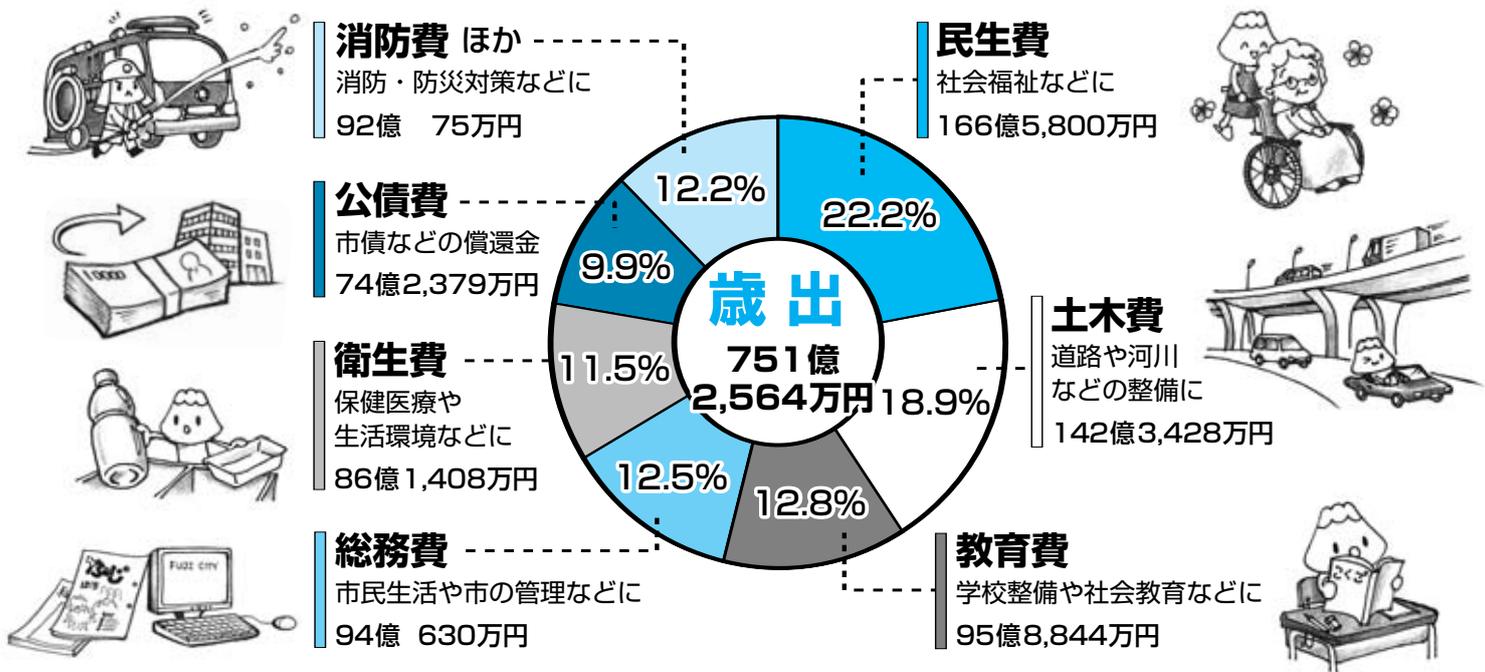


借入金は年々減少しています。

財政の豊かさ (財政力指数)



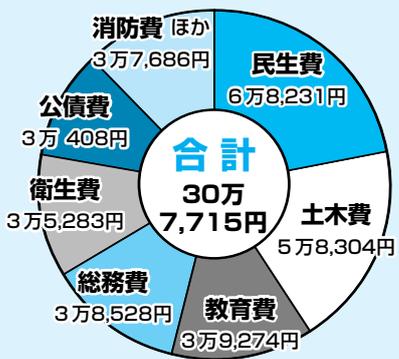
国からの財政支援は受けていません。



民生費が6年連続で歳出のトップ

歳出を目的別に見ると、福祉関係の費用である民生費が22.2%を占め、6年連続で一番高くなっています。本格的な少子高齢社会の到来を受け、民生費は今後も高水準で推移することが見込まれます。

歳出を市民1人当たりへ換算すると…



※端数を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

特別会計決算

歳入 580億4,933万円
歳出 573億7,368万円

富士市には14の特別会計があります。ただし、表中では内山特別会計などの財産管理特別会計(全4会計)を省略してあります。

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	225億5,544万円	223億3,340万円
老人保健医療事業	148億9,507万円	148億6,486万円
介護保険事業	102億5,400万円	102億1,123万円
下水道事業	86億1,140万円	85億9,943万円
新富士駅南地区土地区画整理事業	5億8,949万円	5億7,702万円
墓園事業	3億8,063万円	3億4,968万円
地方卸売市場事業	1億4,366万円	1億4,366万円
第二東名IC周辺地区土地区画整理事業	1億850万円	1億38万円
駐車場事業	7,249万円	7,198万円
公共用地先行取得事業	1,001万円	1,001万円

企業会計決算



水道事業

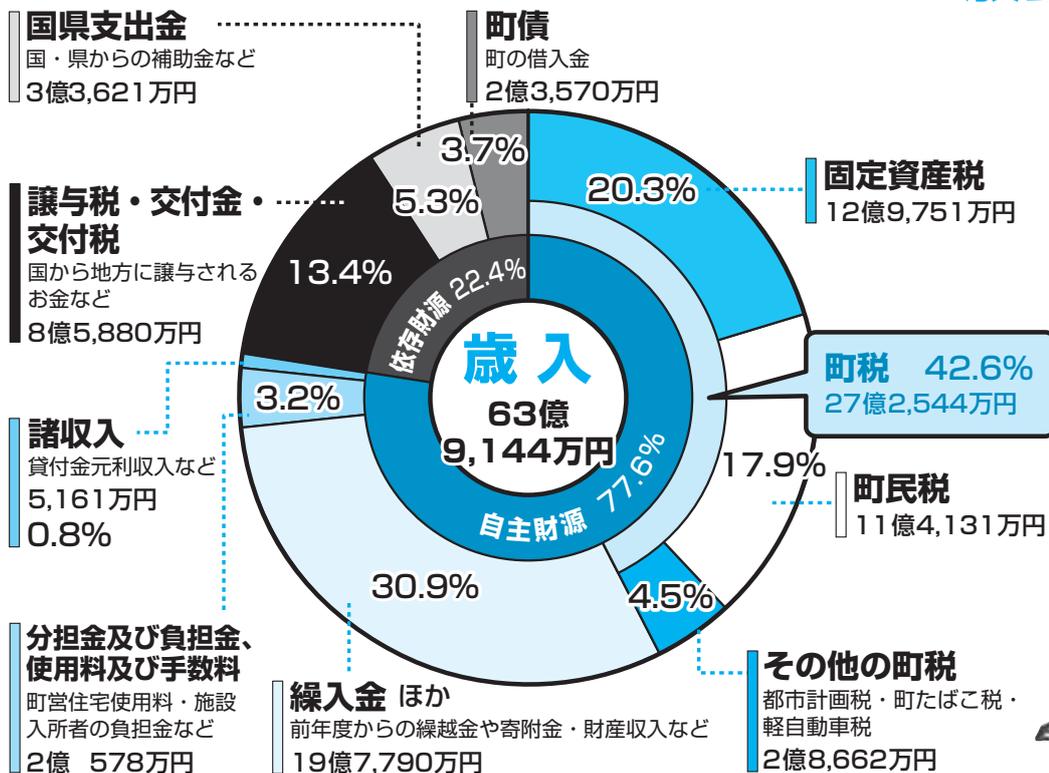
事業収益合計 27億6,544万円
事業費用合計 24億4,966万円
純利益 3億1,578万円



病院事業

事業収益合計 117億9,320万円
事業費用合計 118億1,947万円
純損失 2,627万円

② 平成19年度の 旧富士川町の財政事情



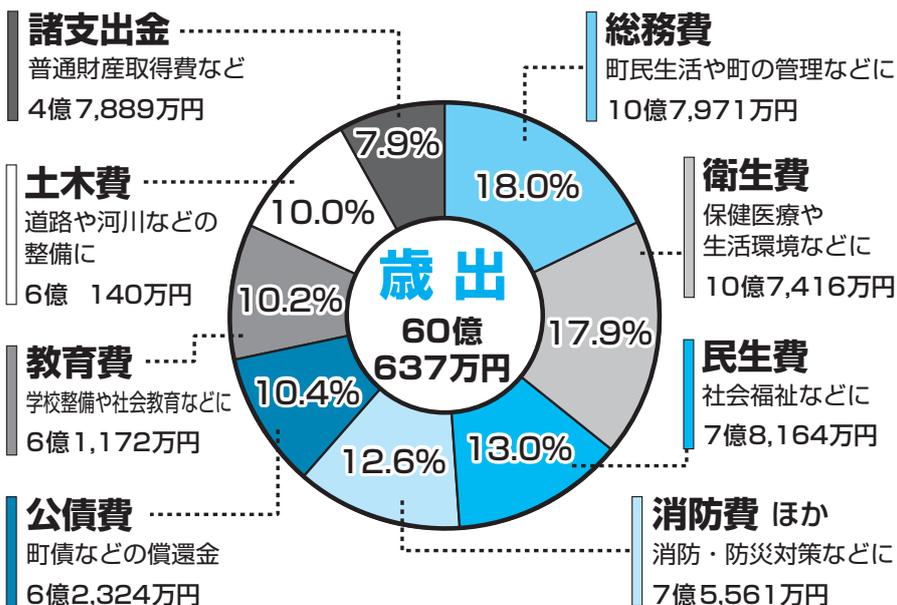
特別会計決算

歳入 47億7,778万円

歳出 46億4,300万円

富士川町には4の特別会計がありました。

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	17億3,699万円	16億1,605万円
老人保健	14億8,297万円	14億7,710万円
介護保険	9億6,869万円	9億6,072万円
土地取得	5億8,913万円	5億8,913万円



企業会計決算

水道事業

事業収益合計 2億7,812万円

事業費用合計 2億7,240万円

純利益 572万円

詳しくは、市ウェブサイトに掲載してあります。



決算報告に関する問い合わせ

財政課 ☎55-2725 ☎53-0909

✉ zaisei@div.city.fuji.shizuoka.jp

<http://fujishi.jp>